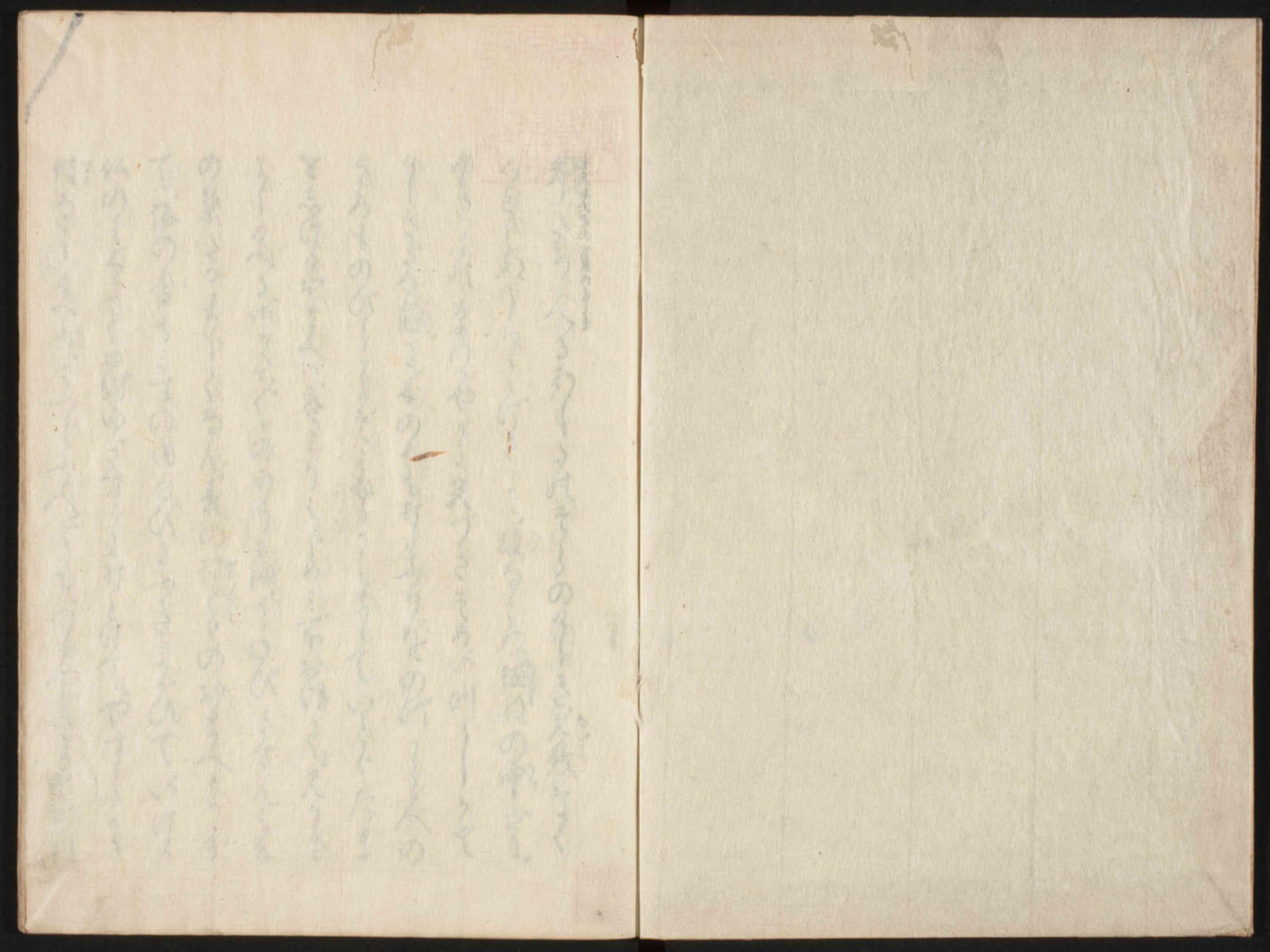


57X
27
60

大川子

あらわし
第一

哥と匂と名うきわ





は段まえの音のま

年 こううさんわへ えくの うき せんすく
くらぬ こううげきよ ねうめんの 中 うち
ゆき まれまつや えづさあい い くも
うきうき はよ おのとせうり とのびる人の
うきうき ひづくで あうへ まくで うきうき
とうけいふまへを うり じめ あおへく えく
うきうき あうくの あうく まびとそんま云
の葉 うき くらん葉 の うき うき
て はの香 か すの 因 いん うきまへていり
仏の うきよとあはゆ す せうり て やすく
けう うき うき 人 ひと うり やすく うれ



まきひきそよぐ。ひよりで、こゝれあつひだあり
まきひきうき池の焼やけは万代まんだいとよし、べさうげを
まきひきけ。行ゆくつけてもすゑと紙かみを出
まきひきとあくまくちくすくままくよ。まよ乃
日ひうちうり。げよりよきのまとひて、いそくじ。
まくらうらう日ひうち、水みずのの方がたは、わざとわざと
れはづくバーもげへちどとおまく人の山さんの小松こまつ
あまぶつまく人のせうども、玉たまごうるくもぶの
まきひきうり。わざとわざとがまくくちわの先さきとひげ、
まきひきうり。あくまくあれたり。えくまくめえまくの枝えだよ
まきひきうるまくまくわく

年月とねよひわてよす人のよきの物
あらわせよとくもぬきのとすれゆるをげ
氣と骨骨ほね一もよとくのものうちあくをげ
いれくうはうはうはうはうはうはうはう
づくはうはうはうはうはうはうはうはう
ちくはうはうはうはうはうはうはうはう
明書めいしょえうもううへうあうはうはうはう
ふもづくえづくへくづくへくづくへくづく
引別れ年ハ流れぞきのとぎー私の福をと
れやかさうなれよまきて、ごくごくごくごく

友の内おなじみあるをうまくへど、どうもうちめり
あやつてくにげよううて、わざとこれうちき
こくちうちく、あてやうすうちうきうけひ
もつうさう内うちよそくで、心の闇うらでもうく、ま
ちうれうひうち。今いまあれ、じくらるやうす
く有あはよきてうしもとて、おがうきうしもとひう
きうわうぐうさん、いきせの奥おくうきうしきく
きうきうきさはくとくとくれど、すうとくとくやう
すくへばあらわうみて、おつすおもかげうひゆくあ
りうひよそ、ばぐううどもううくうくうくうく
やううううよあうううううううううううううう



あひきふ。我らは人へまかめぐれ
わう風を。そぞろうそじれ。くは、あれ心
うち人のつゝて。これよそしまさむるす。
やがて射面のゆうへと。先我心のうさむる人の
心のとおれをも。われくらはやうありとき
う。うようのれゆだらう。うく
うくうく。うのづへづりゆくまく
す。あれはあめく。うづりげく
うづりげく。うづく。うづく
人行のあまくもて。まくひのくべきまくあれせ
う風やううれで。うごく。もとくのへ

と。うううう。ゆきうけよ。まくまく。うう
ま。われう。げと。まく。やま。まく。
もやううう。ううちやう。うまやう。うう
うううと。うう。うう。うう。うう。
うう。うう。うう。うう。うう。うう。
うううう。うう。うう。うう。うう。
うううう。うう。うう。うう。うう。
うううう。うう。うう。うう。うう。

の心ももろびておぼれかすとぞ

やくはいきめどり

宿泊

ゆきもわらひておぼれかすとぞ

琴うつむくとあくをとすとぞ

さくまくわらひくわくをとすとぞ

うらとすのへのちんまよとすとぞ

まことあくとぞ

ほ

まことあくとぞ

いよいよわらひくわくをとすとぞ

うらとすのうらのうらの風

風とま

うらとすのうらのうらの風

六六

うらとすのうらのうらの風

風とま

やまのれぐよもぞひてうる
うすばくすま声ゆりてうらむ、もあらし
けとべ・家一わればうど・ひまくへ・うどあ
うすぢちど・うさ・きもどてあうと・どりてうまきひ
つげゑく・うくもづ・げうり・かでう・わく
一てうなすま・はく・おうと・うて・まくぐく
カズのまく・う・う・こまく・まく・うやす
う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う
う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う
う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う
う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う

まくらうり。まの香をまよタ風のどうぞ。せぬ。さ吹ふ。うそ。
おまへの海やうへひもとまきて。あれの旅どきをす
よ。ぬのちくべも、らゆう。このとれうち出でま
ひやうしゆくをやうぢう。ねほ。もし。まきぐる
かえへまくる。まきのすゑつる。やくちむく
うく。でくく。まちも。うく。ども。びく。つく。ちぬれひ
うよ。まやうれて。えども。もと。ます。うらぎ。じく
きんづれけ。うのもう馬車のをなむ。それ
でまくまく。うじ。からうその中のせ。せふ。
まくひげ。まんぬちむくやと。心やうげ。げ。うり。
まくのくの境よ。まもれきる。けく。くも。

まわるまへて。それの教のまゝれどせの
まへて。山海やま^かよあひうへて。けれま
人の心とがちよとほまへて。めりとがり。
このかの心こころとあひよしとほまへて。めりとがり。
まうひの人の心こころのまゝれくつゝか。れ
のうびのうべの心こころのまゝれくつゝか。れ
くへ。まゝそのうびよきよひ。よきやうも、
まゝうきよあらう。まばげき日ばきて。ま
まうきよあらう。まばげき日ばきて。ま
まうきよあらう。まばげき日ばきて。ま

快ひきつづうひ隠ゆよ中、冬、冬、冬、もあばー
とす。今つく哀よあが。され心のよどせあざーき
ねふ。うちとけみれこまくしてゆふゆき風あむれ
きう。うううう、よもよもうべての人うき。とづく
りくうきくさ人のゆき風とおぼえだ。哀よつれ
ぎまくそく。心くわゆまくかもありう。ぐうく
ぞう。けくかちよひよひよひじげく。うつむらくま
づくらひまくは。うづひきく。うづひきく。
うづひきく。うづひきく。うづひきく。うづひきく。
うづひきく。うづひきく。うづひきく。うづひきく。

うきひへありうくさんとまくりへばくらくう
えすよつひきて 醉酔ひきの阿闍梨アハリのふのふあ
ひくゆうとて まめだまえをひゆうてうん まく
ゆをえうぐれす後 がむく仰あおくまくよハハ
それあくさかきうとちりう心ハムきくくく
あくとあくらうりとけきくとおぼきとくよてち
ゆとまくよまくのへよてかひす うつまわもつと
うぶづの身みのうらだよゆづりみてうくう
そはのやうらううひの夜よがくへよもく
うのねがくらん うづくまくゆうく うらつされ
うくともがくらくへし もともとまくられ

われうへ、もと心のまことにまきて、くの
内へうつてむきひよしとのげへんとのまへ
て、じうひの匂のうへあけみて、とあわやう。
まきをゆあれうへもうちけれどすみ詰め、あの
けみへとげうて、やすへのよざりごくそ、いと
面あらうに物のえびとうをひうど、ともやもん
ゆきを、まくらへきて

（ほ）
さくさくのまのまよよふべくとて、のつり
ああまをうれびとうじらまくとまよちぬ



あすかへあれひびとすも。うりよゆく
みて心まごつて。せのひくひうどを。ふよ
こまうすゆうそくうつて。これ。ひしーきや
くすとすをすもあくねれど。さひありき
よともわ。やつとうんすとのま。皮あみさ
せのうとくと。こくとくのくらむめり
と。うづくく。うわうわうわ。うんとく
うううれひくへばげくよ。うんとく
うううううあ。うへうも。うううう。う
うけこまうて。うううううちれう。ううう
あ。うううううううううううううう

のふまひくべくもわらずたるのうち今の大統領を
志すて、さうりのようひまわれしとあるをな
くやまとゆやうておけよくれうちかん
ゆくら。これさのそきつて、がほりうちき
日すのゆりゆりくあれど、心の中へをとくと
えんじく引くゆりのうみりのがのうとうろゆ
れ食くあくねうよちうくの落つれをも
経て、あれど、うれど、うれど、うれど、
わくめぐされのゆくうれど、うれど、
ちくまでうすにすすよつけ人のゆくよつてり。
あるゆくうすくおうしませば、うれど、
うれど、うれど、うれど、うれど、

ゆくうよくきて、さんびくの人と年ねをく
けり。とくへがくとくとくあり。うちうち生産院
まうて、づきよげ院院よまつらの行をとく。院の
ゆくよぬよくうがのうめうめくとくまくして、
うす空すくわからむのえあくねよ後じぐらども。
まのじくめはうくうめひよて、まのまもひと
ゆくうくまくして、このゆくくへとくよくうづ
てれきくとことどもありそれも、たぶのくいり
くいよれつぎのうりふくとよくのくいの
飛ぶ。寝殿の南のゆくよつうきて、くまくの

ひのよしよせんかひのうきそり。上もひとく。下
おうすまきば。こみ帳。もくらへて。もくらえ。まふ。
ま義院。まきいのまのれ。まうら。まうり。まうひ。
あもやうく。あけゆけ。ば。おぎひもやよそ。とも
き。おべま紙。例あり。こどもうけ。おぬこども
もくもく。つづく。こもても。もやをきよ。教す。
おと。き暁月。およ。おひやうく。さうつひ。松うさ
あを。くく。まめわ。ねす。まめわのえあひ。あよの
まめわ。まめわ。のまめわ。まめわのえあひ。あよの
あれど。あくよ。やがまく。ひゆき。ひのうのづ。

まとうり。身の中の筋。肉の筋。筋の筋。
もぐれて。やすく。まやまう。ほのく。とめり。
ゆさや。らうて。まろもむきよ。け。がくうひ。
まわす。まうす。ま声。の筋。うとく。
まあく。うん。とくうち。これ。ばく。く。づ
れ。よづれ。がくし。め袖。ぐち。だく。ばれつ。で。
まのま。まく。まうひ。うど。のけ。のま。ま
あやしく。心ゆく。まれ。う。うけ。げ。のま。ま
ぐのま。うれ。う。ま。と。がま。のま。ま

うすこもよぢりのひきわろふまひや
しもあめぬを。何のつらうつらでまんで。
あけくとめれば、うぐいすつらをなむ
むくのますう。ゆきのめごめりて、日下くにさ
えり。ゆのくは、蟬のかめり。うくをくをく
さうかあやまつさくとも。ウハナにはひよ
そあれ。うへのひとまくとも。うりうりう
すちかの、ものへよう。もまくとも。うりう
すれやどぞくくし。がみやけべよあく
くともん。うふまで。がくのあくれど

うくくくくうくうく。またもまれよとしひーと
うくもくくはのすきうすらの心をうそと。
ひべされ。またおげめ。すくうくうううううう
うううううううううううううううううう
すくくくうちづくひのうのうのうのうのうのう
のうひのうつて。ううううのうのうのうのう
れりうのほれあえーとのうひて。うとせ
せめひやどす。うううううううううう
うげくうとけくうくうく

1. Particulars

of the Reformation in Scotland
from the time of the Reformation
to the Union of the two Kingdoms.
Also, some account of the
Reformation in Scotland,
and the Reformation in
England, and the Reformation
in Ireland, and the Reformation
in the British Isles.

